

長野の林業

平成30年3月10日発行
長野の林業編集委員会

No.338

もくじ



| | | |
|------------------|------------------------|---------------------|
| 新任ごあいさつ | 中部森林管理局長 | 2 |
| 特集 | 平成30年度緑化運動 | 3 |
| | 長野県緑の基金 | 4 |
| トピックス | 平成29年度長野県林業士認定証書授与式を開催 | 5 |
| | 中部森林技術交流発表会 中部森林管理局 | 6 |
| | 各地域での取組…諏訪／松本 | 8 |
| | 長野 | 9 |
| | 木材利用工法の優良工事事例コンテスト | 10 |
| 災害時における災害要請の事例紹介 | 長野県森林組合長会 | 11 |
| | 森の元気情報 | 小さくともキラリと光る林業事業体に学ぶ |
| | 長野県林業労働財団 | 12 |
| お知らせ | 山火事防止の告知 | 13 |
| 県森連だより | | 14 |
| 長野県の木材市況 | | 20 |



平成30年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

中学校の部 特選 文部科学大臣賞

平成29年度長野県林業関係ポスターコンクール

中学校の部 長野県知事賞受賞

須坂市立相森中学校 栗林 志誓さん



新任ご挨拶



中部森林管理局長
宮澤 俊輔

この度、一月十一日付で中部森林管理局長を拝命しました宮澤俊輔です。

「長野の林業」の読者の皆様には、日頃から国有林野の管理・経営に格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私にとって、これまで国有林の現場勤務は、北海道営林局(当時)と関東森林管理局であり、中部森林管理局は初めての勤務となります。また、私自身は東京生まれで、これまで中部局管内で生活したことはありませんが、父は長野県飯山市出身で、幼少期には夏休みに父の実家で祖母や従弟と遊んだ思い出もあり、こちらで勤務することとなったのも何かの縁と考えております。

さて、戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎える中、林業の成長産業化の実現に向け、豊富な森林資源を最大限に活用していくことが喫緊の課題となっております。そのため、林野庁では、経済ベースで活用できる森林については意欲と能力のある林業経営体に森林の経営・管理を集積・集約化するとともに、経済ベースで活用できない森林については市町村が公的管理を担うための仕組みである「新たな森林管理システム」を構築するための法案を本年の通常国会に提出する予定となっております。

企業特別会計から一般会計に移行して今年で六年目を迎える中部森林管理局としては、徹底的なコスト縮減や、最も山元への還元が大きい無垢製材等に使用される木材(いわゆるA材)をいかに高く買ってもらおうか、といった民国共通の課題解決に向け、伐採・造林一貫作業システムの推進や、林業事業体の生産性向上、ニホンジカ被害対策、A材のブランド化(信州プレミアムカラマツ)などに率先して取り組み、その成果は民有林の方々に普及しているところです。これらは、「新たな森林管理システム」の円滑な運営に貢献

できるものと考えておりますので、積極的に取り組んでまいりたいと思います。

また、平成二十九年七月九州北部豪雨のように、これまでに経験したことのない雨がいつ、どこで降ってもおかしくない状況にあるため、当局では、国有林の有無にかかわらず、山災害が発生した初動段階において、県や市町村等との合同によるヘリコプターでの広域的な被害調査の実施や森林土木技術者等で編成する「山災害対応チーム(MDSAT)」の派遣など、迅速かつ積極的な対応を行う考えです。

私はこれまで、木材関係の業務に長く従事するとともに、ニホンジカ被害対策や森林環境教育等にも携わってきましたので、これまで経験してきたことを活かしてお役にたてることができると考えております。

管内の各県や市町村、関係団体、そして地域の皆様と一緒に、管内の森林・林業・木材産業の振興ひいては地域の振興に貢献できるよう、しっかりと取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

平成30年度緑化運動がはじまります。

4月1日から5月31日は『緑化推進特別強調期間』です。
この2カ月間は特に県内各地で緑化運動が行われます。
緑の募金活動や緑化活動などの実施について、ご協力をお願いします。

4月以降県内各地域で、緑化に関する多くのイベントが開催されます。
国土緑化運動の中心的な行事である第67回全国植樹祭（平成28年6月）を長野県で開催し、県内での緑化に対する期待・関心が高まっている流れを受けて、平成30年度も県内各地で植樹祭や緑の募金活動等の様々な緑化運動が行われます。皆さんも植樹会場や身近な山や公園に足を運んでいただき、緑と触れ合ってみませんか。

イベント

県では、毎年「ふるさとの森づくり県民の集い」（県植樹祭）を行っています。平成30年度は、6月2日（土）に下伊那郡売木村南信州広域公園において開催するほか、県内各地で植樹祭が行われます。

緑に親しみ、楽しめる企画を準備していますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

また、県内各地で「信州 山の日」に関連したイベントが行われますので、こちらも是非ご参加ください。

街頭募金

4月28日（土）から5月4日（金）は「みどりの週間」です。県内各地で、この期間中、高校生ボランティアの皆さんなどと一緒に緑の募金活動を行います。

「緑の募金」は、多くの「人と緑」をつなげる活動に役立てられますので、御協力をお願いします。



植樹の様子



募金活動に御協力をお願いします。

平成30年度 ふるさとの森づくり県民の集い（第69回長野県植樹祭）は、6月2日（土）に下伊那郡 売木村 南信州広域公園で開催します。

ふるさと信州に緑の輪を広げよう



美しい信州の緑や森林づくりのため、「緑の募金」に協力をお願いいたします。

事業の体系

森林・林業の啓発と緑化事業

- 情報誌等による広報、普及宣伝
- 県民の集い等の開催
- 講演会の開催等
- 都市緑化等の環境整備
- 森林づくり等実践参加の促進

緑の募金事業

- 緑の募集活動
- 公募事業の実施
- 緑化の推進等
- みどりの少年団の育成

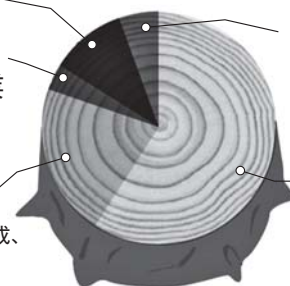
平成29年 募金総額 79,152,191円

緑の募金の使途

募金活動経費
(募金運動啓発、募金資材など) 10.6%

(公社)国土緑化推進機構の中央事業
(海外植林、公募事業など) 3.6%

人づくり事業
(みどりの少年団の育成、指導者の養成など) 21.1%



公募事業
(緑の募金公募事業) 5.3%

緑化の推進事業
(公共施設の緑化、緑化木の配布植樹、育樹祭の開催など) 59.4%

高校生による募金活動



長野パルセイロ試合開始前の募金活動



ご協力をいただきました「緑の募金」は、里山の手入れ、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。

明日を担う子どもを育てる



うみやまあひだ映画上映
2017ミス日本みどりの女神野中葵さん
藤岡牧夫氏のトークショー



みどりの少年団交流会開催



森林環境教育指導者研修会開催



公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内
TEL026-232-0111 内線4819 FAX026-234-0330
Eメール green@midori-joho.gr.jp
ホームページ <http://www.midori-joho.gr.jp/>



平成二十九年度 長野県林業士認定証書 授与式を開催しました



認定式では、審査委員長の菅原聡様(信州大学名誉教授)から「夢を持ち自ら行動する林業士となってほしい」と、長野県林業士会会長の飯森幸彦様(岡谷市)からは「一人で活動するのは大変であり、林業士会に入って仲間とともに活動をしてほしい」とのお言葉を、

平成三十年二月十五日に、塩尻市「長野県林業総合センター」において、新たに林業士として認定した六名に、認定証書を授与しました。

林業士は、森林・林業をけん引する地域リーダーであり、二年间で延べ四十六日間の研修を終えたのちに、書類や面接による審査を経て認定します。この林業士制度は長野県独自のものです。昭和四十九年から四十四年間で五百三十三名を認定し、県内各地域で活躍をされています。

それぞれからいただきました。山崎明林務部長から認定証書を授与された後に、認定者を代表して片山真様(小谷村)が「山や木が大好きな仲間たちと森林を守っていくことを誓う」と力強いあいさつがありました。今回認定した六名の新たな林業士の皆さんには、これからそれぞれの地域で、里山の利活用を進めながら、地域づくりに御活躍されることを期待いたします。

がんばれ！ 新たな林業士！

【信州の木活用課】

| | |
|---|---|
| <p>【林業士】 高畑 貴紀 佐久市</p>  | <p>【林業士】 小泉 正幸 諏訪市</p>  |
| <p>【林業士】 百瀬 太郎 駒ヶ根市</p>  | <p>【林業士】 和泉 文康 松本市</p>  |
| <p>【林業士】 片山 真 北安曇郡小谷村</p>  | <p>【林業士】 山崎 信悟 長野市</p>  |

平成二十九年度 中部森林技術交流発表会を開催

【中部森林管理局】

一月三十日から三十一日にかけて、中部森林管理局大会議室において、「平成二十九年度中部森林技術交流発表会」を開催しました。

この発表会は、管内の国有林及び民有林の行政・教育・研究機関、林業事業者等が、森林・林業に関する試験研究、事業で実証した先導的な技術や森林環境教育の取組等について、発表・紹介を行うことにより、その成果を普及し、更なる森林・林業及び木材産業の発展を目的として毎年開催しています。

今年度は、国有林関係から十六課題、民有林・学校関係等から十六課題の合わせて三十二課題が発表されました。

開会にあたり宮澤局長から、『今回の交流発表会では全部で三十二課題、幅広い分野について発表していただきませんが、本当に忙しい業務あるいは学業の中で取り組まれたものであり、今までのご苦労に感謝



受賞者記念撮影



学生による発表



発表会の様子

を申し上げると共に、良い発表となりますこと、そしてまた、その発表を巡って真摯な議論がされることを期待しています。

本日・明日の発表される研究の中身が、将来の森林林業の発展に寄与することを心から願います。』との挨拶がありました。

引き続き行われた発表では、「森林技術」、「森林ふれあい」、「森林保全」の部門ごとに発表し、

林業の低コスト化や、

地域と協働した取組、

独自に着目して掘り下げた課題や新たに取

組まれた開発課題など、勉学・業務研究に

より得られた成果につ

いての発表が行われま

した。

一日目の発表会終了

後には、信州大学農学

部岡野哲郎教授から国

有林関係、二日目は名

古屋大学大学院生命農

学研究科田中隆文教授

から民有林・学校関

係について、各課題の

着眼点や効果、今後進

めてもらいたい方向な

どについて、先生方の

研究分野で得られた知

識や経験などを織り交せて講評をいただきました。

また今回は、森林総合研究所東北支所齋藤智之氏より「中部地方におけるスズタケの「一斉開花」と題して特別講演が行われ、タケ・ササ類の生活史特性、熱帯のタケの開花周期、日本のタケの開花周期、中部のスズタケ一斉開花の特徴をわかりやすく解説していただきました。今年度は、例年より多い課題の応募があったことから、発表者・聴講者等を含め二日間で延べ四百名近くの方に参加いただきました。

受賞課題と受賞者は次のとおりです。
(発表順で掲載)

◆国有林関係

※局長優秀賞

☆付属路の開設による効率的な生産事業への取組

北信森林管理署 西方雄一郎・岡本守

☆国有林における無人航空機の計測的活用

飛騨森林管理署 三谷果穂・本間文瑠

☆岐阜森林管理署のニホンジカ対策

～職員を意識向上と職員捕獲の取組～

岐阜森林管理署 小原弘明・日吉晶子

☆長野県軽井沢町における藪刈り作業

東信森林管理署 下岡正幸

軽井沢西地区国有林藪刈り実行委員会

打越綾子

※局長努力賞

☆自然環境に配慮したコンテナ苗による治山緑化工

中信森林管理署 帆足 郁・向山 剛

☆金沢山ヒノキ林分における漸伐作業の取組

南信森林管理署 竹内 智絵・源田 聡子

信州大学 松井美希子・齋藤仁志・植木達人



☆木曾ヒノキ天然更新補助にかかる取組
～ササ処理方法からみえてきたもの～

木曾森林管理署 早川 幸治
森林総合研究所

酒井武・星野大介・齋藤智之
木曾森林ふれあい推進センター 黒田 誠

☆多様な森林への誘導に向けたモデル林における取組
南木曾支署 南坂 博和

☆自然侵入促進工による林地復旧の取組
伊那谷総合治山事業所 佐藤 義和
(株)愛絃 原 大吾郎

☆ドローンを活用するために
岐阜森林管理署の取組～
岐阜森林管理署 平枋 潤己

☆高標高地、遠隔地における森林整備等の課題整理
富山森林管理署 千村 知博・村中 健彦

☆列状間伐がヒノキの成長に与える影響について
～樹幹解析による成長量の評価～
森林技術・支援センター 三村 晴彦・堤 隆博

☆ササの一斉開花に伴う森林への影響について
愛知森林管理事務所 野口 和幸
森林総合研究所 齋藤 智之

☆裏木曾登録ガイド制度の取組について
東濃森林管理署 伊藤 章代・安藤 康生

☆一〇〇年先の森林づくり発表会の開催
～国・県・市が連携した地域での取組～
岐阜森林管理署 大島 愛彦

☆王滝村における森林・林業体験交流促進対策
事業の取組について
木曾森林管理署 松原 正志・瀧本 りりこ

◆民有林関係機関、各種団体

※森林・林業振興賞

☆北アルプス雲ノ平における十カ年実施した官民
学協働による植生復元活動について
雲ノ平山荘代表 伊藤 二朗
東京農業大学 下嶋 聖

富山森林管理署 千村 知博

☆岐阜県東白川村国有林のヒノキ人工林における
水源涵養機能改善に向けた調査研究
サントリーグローバルイノベーションセンター(株)
筑波大学 川崎 雅敏・阿部 豊
恩田 裕一

☆シカ食害地の防除方法の比較検討について
長野水源林整備事務所 高橋 克明・池神 真奈美

☆「南信州鳥獣害対策アカデミー」による地域
全体の情報共有とスキルアップセミナー
長野県南信州地域振興局 久保田 淳

☆原点回帰・屋根刑道に学ぶ丈夫で安価な道づくり
岐阜県飛騨農林事務所 中谷 和司
たかやま林業・建設業協同組合 長瀬 雅彦

☆根鉢の低いヒノキ・コンテナ苗の育苗と植栽
初期の成長
岐阜県森林研究所 渡邊 仁志・茂木 靖和
森林技術・支援センター 三村 晴彦・堤 隆博

☆1・5年生ヒノキ・コンテナ苗の育成条件の検討
岐阜県森林研究所 茂木 靖和・渡邊 仁志
森林技術・支援センター 三村 晴彦

◆大学、高校等

※奨励賞

☆城山における生物モニタリング
長野県林業大学校 南坂 拓杜

☆チェーンソー伐倒作業を中心に置いた技術
マニュアルの制作

～海外とのルール比較～
長野県林業大学校 高山 亮介・藤原 涼太・堀井 拓人

☆森林路網がスギ人工林内の植物種多様性に
及ぼす影響
信州大学 孝森 博樹

☆ヒノキ漸伐林における終伐後の林分状況と
造林費の推定
～金沢山国有林を事例として～
信州大学 松井 美紀子・斎藤 正志・植木 達人
南信森林管理署 藤井 勝・竹内 智絵

☆ヒノキ人工林における枝と死節の分布特性
岐阜大学 山本 敦也
岩室 宏基
石田 仁

☆県産材でつくる画用木炭
岐阜県立森林文化アカデミー 境田 夕姫

☆赤外線センサーカメラを使用した演習林内の
動物の生態調査
☆演習林内でのモノレール活用と、林道との
交差の施工方法について
長野県木曾青峰高等学校 磯尾 ちなみ・黒澤 佳苗
児野 稜・坪田 智大

☆飛騨の森林から魅力発信！
～知る・学ぶ・伝える～
岐阜県立飛騨高山高等学校 谷腰 怜央・岩本 芽依

☆教えて学ぶ森林活用
～二膳の箸を通じた森林の役割や大切さの啓発～
長野県下高井農林高等学校 大平 悠斗・小山 竜生・佐治 行喜

木材の生産性向上と木質バイオマス利用を 考えるフォーラムが開催されました

伊那谷流域林業活性化諏訪地区協議会が主催する諏訪林業フォーラムが平成三十年二月二十三日(金)に諏訪市で多くの諏訪地域林業関係者参加のもと開催されました。

第一部では、木材の生産性の向上に向けた取組として諏訪地域の信州フォレストコンダクターからスマートフォンを使った業務管理の効率化の事例についての発表がありました。

身近なスマートフォンで手軽に日報などの現場情報の把握・管理ができ、そのデータを活用することで効率的な事業計画づくりや経営管理に活かせるとのことでした。参加した事業者への波及が期待されます。

第二部では、木質バイオマス利用についてパネルディスカッションなどが行われました。諏訪地域で計画されている小型木質バイオマス発電の計画事業者から概要説明の後、長野県産材利用推進室、三重県松阪市のバイオマス発電事業者などのパネラーにより、木質バイオマス発電の燃料調達や発電方式、林業関係者との協力体制、Fパワープロジェクトとの共存の方向性などのテーマについて、活発な意見交換が行われました。

パネラーからは、計画を進めるにあたっては、地域に合った施設選択と具体的な数字(燃料価格、取扱量)を地域に提示することが重要との指摘などがありました。

参加者からも多数の意見があり関心の高さがうかがえ、地域の未利用材有効利用の手段として小型木質バイオマス発電は非常に有効であることを認識、共有したフォーラムとなりました。

【諏訪地域振興局】



衛星画像を活用し松くい虫被害を調査

松本市では、平成十七年に信州大学と各分野で相互に協力し、地域の発展等に寄与することを目的とした「連携協定」を締結しています。

この連携において、平成二十七年より全国に先駆けて、衛星画像を活用した松くい虫被害調査に取り組んでおり、この衛星画像の解析には、信州大学山岳科学研究所の加藤正人教授が開発した特許技術が用いられています。

本年度、これらの取り組みが、JAXA(宇宙航空研究開発機構)に、高く評価され、平成三十二年には、この解析に必要な高性能センサを搭載した先進光学衛星が、国家プロジェクト「先進光学衛星の林業分野への実証技術開発」として、打ち上げられる予定となりました。

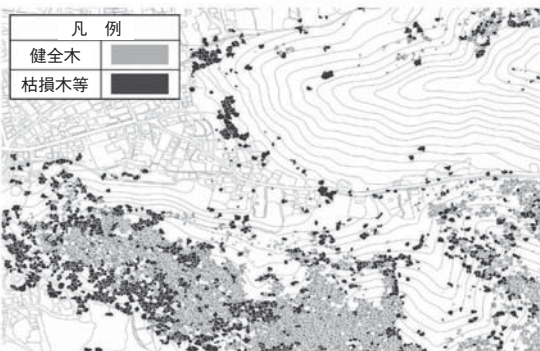
松くい虫被害調査においては、人が森林内に入って行う目視調査が主流ですが、衛星画像は、『鳥の目』で森林の様子を空から解析できるため、被害の先端部や進行方向などが視覚的に把握でき、市全体の戦略的な松くい虫被害対策が可能となりました。

リモートセンシングの大きな可能性を感じています。

森林リモートセンシングの活用例

- ① 樹種分類
- ② 伐採地の抽出
- ③ 樹木位置の抽出
- ④ 森林経営計画への利用
- ⑤ 森林簿の更新
- ⑥ 森林病虫害調査
- ⑦ 木質バイオマス活用における材積調査
- ⑧ 台風等の被災状況調査及び復旧計画

松くい虫被害状況図



【松本市耕地林務課】



「信州の木活用モデル地域支援事業」による木とのふれあい空間の創造

森林づくり県民税を活用した地域材利用の取組

昨年の十一月県議会で、平成三十年年度から五か年の延長が決定した「森林づくり県民税(森林税)」。

「特定非営利活動法人森のめぐみ」(上水内郡信濃町、重松壽代(代表理事))は、本年度、この森林税の財源を活用した「信州の木活用モデル地域支援事業」により、地域材の優しさと温かみあふれる施設を整備しました。

施設の内容は、地元の農産物などを販売するカウンターを配したトレーラーハウス、子供たちが楽しめる小型プールと花壇がセットになった簡易ベンチ、休憩スペースに敷き詰めたテラスなどで、農産物の地消地産の拠点である上水内郡信濃町の「道の駅しなの」に設置して、県内外から訪れる人々に憩いの空間を提供しました。

使用された木材は、長野地域から生産されたスギやカラマツの間伐材で、特に小径材を工夫しながら作られています。これら施設の特徴は、整備されたすべての施設が可動式となっており、テラスをはじめスペースの形状に応じて自由自在な組み合わせが可能なこと、先駆的、モデル的なものとなっています。また、子供やお年寄り、体

の不自由な方などのために、テラスへの踏み台やスロープもセットになっており、集う人に優しい施設です。積雪の多い冬場には、施設を一時撤去し、耐久性を確保しながら保管してありますが、グリーンシーズンには再び道の駅を拠点として、様々な場所で憩いの空間を演出する予定です。皆さんも、信濃町方面にお越しの際は、是非「道の駅しなの」で足を止め、農産物などの品定めをしながら、木とのふれあい空間を満喫してみてくださいいかがでしょうか。



農産物の地消地産を推進するトレーラー



小型プールと花壇がセットになった簡易ベンチ



憩いの空間を演出するテラス

※「信州の木活用モデル地域支援事業」は、平成二十九年年度をもって終了します。長野県では県産材利用推進に向けて新たな事業に取り組んでいきます。

【長野地域振興局】



公共工事における木質土木用材を活用した 第8回優良工事事例コンテストについて

＝長野県県産材振興対策協議会＝

平成29年度、第8回優良工事事例コンテストの入賞作品を御紹介させていただきます。
何れも普及性等の高い優秀な応募事例の20点から、9点を表彰させていただきました。

長野県知事賞



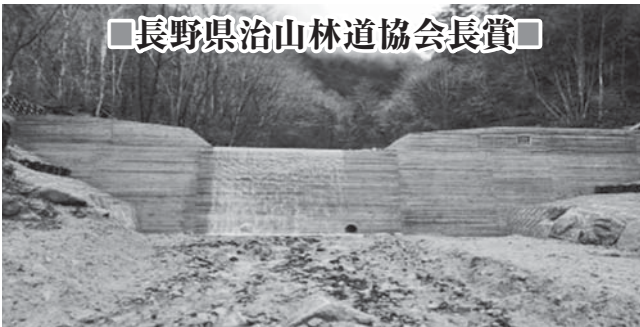
中部森林管理局 東信森林管理署
木製校倉式土留工、丸太水路工、丸太筋工他
(上田市 西内国有林内)

中部森林管理局長賞



長野県上伊那地域振興局 林務課
丸太組工 (上伊那郡 箕輪町 東箕輪)

長野県治山林道協会会長賞



中部森林管理局 木曽森林管理署南木曽支署
木製残存型枠工 (木曽郡 南木曽町 北蘭国有林)

長野県森林組合連合会会長賞

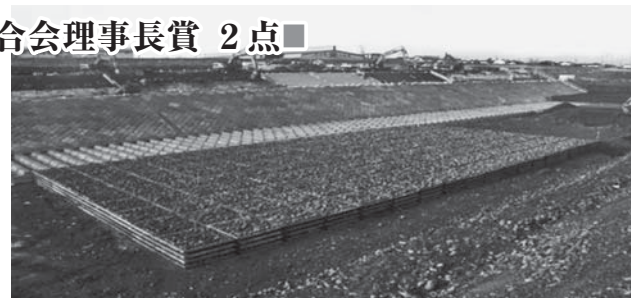


中部森林管理局 北信森林管理署
木製歩道改修 (長野市 戸隠 戸隠山国有林)

長野県木材協同組合連合会理事長賞 2点



長野県上田地域振興局 農地整備課
木製ステージ (上田市 殿城)



国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所
木工沈床工 (長野市 青木島綱島)

長野県県産材振興対策協議会会長賞 3点



長野県環境部 自然保護課
木道工 (下高井郡 山ノ内町)



長野県諏訪建設事務所
覆砂工(木工沈床) (諏訪市湖岸道り5丁目)



長野県松本地域振興局 林務課
木製はしご土台工(東筑摩郡 麻績村)



『長野県との災害時等における協力に関する協定書』の要請活動実施

信州上小森林組合では、長野県林務部と長野県森林組合長会との「災害時等における協力に関する協定」に基づき、十月二十三日（月）、上田地域振興局（林務課）から支障木撤去要請があり、対応しました。

現場は上田市上塩尻及び下塩尻地区で十月二十二日の夜から二十三日の早朝にかけて台風二十二号による強風により多数の広葉樹が倒れ、周辺の民家の屋根や墓地に被害が発生する事態となりました。

当地区は、急峻な斜面に広葉樹の老木が多く、特に倒木被害が目立ちました。現地は、倒木が重なり合い、治山施設（落石防止柵等）の上方から民家等に倒れ込んでおり、加えて、近隣には家屋、送電線、墓地等の保護対象物が多数ありました。このため、非常に慎重かつ安全な作業が必要と判断され、ツリークライミングにより徐々に上部から切除し、二〇トンクラスのラフタークレーンで吊り上げるといふ高度な作業方法を採用することとなりました。幸いなことにそれらに対応できる技術者等を確保することができ、撤去作業は無事に完了しました。

今後このような災害が発生した場合は迅速に対応できるよう、要員や機材の確保に係る災害時対応マニュアルのようなものを作成する必要があると感じました。



撤去前



撤去後



ラフタークレーンを用いての吊り上げ作業



ツリークライミングによる切除作業



長野県森林組合長会

小さくともキラリと光る林業事業体に学ぶ 長野県林業労働財団による先進事例視察研修会

県内の林業事業体の経営基盤強化と雇用管理の改善に役立ててもらうため、二月八日、九日の両日、山梨県の林業事業体二社を視察しました。

初日に訪ねたのが、有限会社藤原造林です。従業員十三名の会社ですが、平成十五年からいち早く森林施業団地を経営基盤の中心に据え、県有林事業など請負事業主体の経営から転換を図りました。現在四〇三haの森林経営計画のもと、幅員二・五mの作業道と小型車両系機械を組み合わせた施業を行うなど持続可能な林業経営に徹しています。

視察では、そうした作業現場に加え、エネルギーの地産地消を提唱する藤原社長自らが導入を働きかけたゴルフ場のチップポイラーを見学しました。同社では、このゴルフ場に松くい虫被害木など年間一、四〇〇mのチップを安定的に納入しています。



施業地(藤原造林)
幅員2.5m+小型車両系機械



農業用トラクタに取り付けたチッパー(外国産)

機械に詳しい藤原社長は、海外から独自の機械を導入して改良するなど効率化や生産性を重要視するとともに、多企業とのネットワークの構築を何より大切にしていることが話の節々から感じられました。

二日目に訪ねたのが、弦間林業有限会社です。まだ四十代で行動力溢れる現社長が、平成十四年に創立した会社です。この会社も、県有林事業だけでなく、地域の森林を集約化し、小型車両系の民間レンタル機を活用した施業を行っている会社です。

弦間林業の最大の見どころは、昨年から導入した日報管理システム「フォレストモバイル」です。このシステムにより、現場従業員はスマートフォンで日報やKY活動記録を入力し、管理者はその情報をリアルタイムに確認でき、従業員に情報をフィードバックしています。

従業員からは、「空き時間を利用して入力ができ、効率的である。現場の生産性や出来高の『見える化』が図られ、仕事へのモチベーションが上がる。」管理者からは、「集計作業時間の大幅な短縮に繋がった。事務所にいなくても現場管理ができ、時間の有効活用に繋がっている。」などの意見が聞きました。

今回の視察研修には、十五事業体、二十二名の方が参加されました。雇用管理や現場管理を担う方もおられれば、現場の最前線を担う方もおられます。また、参加者の多くが実に多くの質問をされていたことも印象的でした。民間事業体を持つ判断の速さ、独創性や小回りの利いた事業運営など、得ることの多い研修会であったと確信しております。



スマートフォンで日報やKY活動を送信

【長野県林業労働財団】



春の山火事予防運動について

1 「春の山火事予防運動」及び「春の山火事予防特別強化月間」について

毎年3月から5月にかけては、空気が乾燥し風が強い日も多いことから山火事、枯草火災が発生しやすくなります。県では、この期間を「春の山火事予防運動」の実施期間として山火事の予防に取り組んでいます。山火事等の多くは、田畑での野焼きやたき火、タバコの投げ捨て等の人為的な原因により発生しており、一人ひとりの心がけて防ぐことができます。

また、昨年度の県消防防災ヘリコプターの事故を受け、現在、県の消防防災体制の再構築中ですので、県では3月12日(月)から4月11日(水)までの1ヶ月間を「春の山火事予防特別強化月間」と定め、地域でのパトロールや広報活動の強化等関係機関が連携して山火事の予防に取り組めます。

山火事の特徴

地理的、地形条件から、一度発生すると焼損面積が広範囲に及ぶ危険性が高い火災です。

山火事は春先に多く発生していますが、次のような理由が原因と考えられます。

- ・ 降雨量が少なく空気が乾燥していること
- ・ 季節風が強く吹くこと
- ・ 落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていること
- ・ 農作業等の野外活動が増え、野外で火を使う方が多くなること

※ 過去には、お墓参りのろうそくや線香の火が強風にあおられて落ち葉等に燃え移り、大きな山火事になったこともあります。

(最近の大きな山火事：平成14年3月松本市浅間温泉(約170ha)、平成27年3月岡谷市川岸地区(約45ha))



平成29年5月5日飯田市林野火災

山火事を防ぐために心がけていただきたいこと

- ・ 山火事の原因のほとんどが、「火の取扱いの不注意」で発生しています。
- ・ 一人ひとりが、森林の大切さを認識し、防火意識を高めることで山火事を防ぐことができます。

2 山火事を防ぐ一番の対策は、『山火事を発生させない!』心がけ、呼びかけです。屋外での火気の取り扱いには、十分注意していただきますようお願いします。



山火事予防パトロール



山火事予防パレード



懸垂幕による啓発

平成29年度山火事予防ポスター用原画
農林水産大臣賞



むらやま なぎさ
村山 風沙さん
私立東海大学付属相模高等学校 2年

平成30年度 県森連通常総会開催

当連合会の第81回通常総会が平成30年2月27日（火）に長野県林業センタービルにて、来賓・会員の皆様に多数出席を賜り、開催されました。



藤原会長による挨拶

総会は、林和弘副会長の開会に続き、藤原忠彦会長が挨拶を行い、平成30年度税制改正大綱では、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設すると明記されたこと、長野県森林づくり県民税の継続が決まったこと、信州産カラマツのブランド名『信州プレミアムカラマツ』が発表され、各木材センターでも高値取引され、A材として十分価値ある素材であることを発信できたこと、系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域を創る」について実践的な取り組みを進めたこと、会員組合による不

適切な補助金受給事案に対し組合員や県民の皆様への信頼を回復することを旨として「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」を行ったこと等、述べられました。



中部森林管理局長
宮澤俊輔様による祝辞



議事の様子

その後、県林務部信州の木活用課長・河合広様、中部森林管理局長・宮澤俊輔様、農林中央金庫関

東業務部副部長・長井信介様、全国森林組合連合会常務理事・田中拓洋様より祝辞を頂きました。

議事は、木曾森林組合・神村光雄組合長を議長に、第1号議案・平成29年度事業報告等から、第12号議案・役員退任慰労金の贈呈についてまでの全12議案が審議の上、原案通り承認・決定されました。また、本年は、任期満了に伴う役員選挙が行われ、10名の理事と3名の監事が当選しました。

引き続き、系統利用優良森林組合への感謝状の贈呈及び永年勤続職員表彰（専任職員16名、技能職員23名）が行われ、受賞者を代表して信州上小森林組合依田窪支所長・久保航太様から謝辞をいただき、総会の全日程を終了しました。

平成29年度事業報告 （総括・概要）

平成29年、3月には会員組合が補助金適正化法違反で有罪判決を受け、この不祥事に対応すべく「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」を本会と森林組合長会で決定し、4月28日宣言書を県知事へ手交しました。

11月には「長野県森林づくり県民税」（森林税）を平成30年度から5年間継続する条例改正案が県会で可決され、12月には森林組合

系統の長年の悲願であった森林整備の安定財源として森林環境譲与税（仮称）を平成31年に、森林環境税（仮称）を36年に創設することが与党税制改正大綱に明記されました。

本会の事業状況について、コンプライアンスガイドラインの活用等で不祥事の再発防止に努め、行動宣言の実効性を高める取り組みとして、森林組合経営改善支援委員会を立ち上げ専門家による会員への指導助言を行いました。また、受託・買取販売の他、国有林のシステム販売、中部圏域を核とした広域的な県森連間連携による木材販売に取り組んだ結果、取扱数量263千㎡となりました。

この一年、会員並びに国、県、関係機関及び金融機関の皆様からのご支援、ご協力、ご指導に対しまして感謝を申し上げます。

平成30年度事業計画 （総括・概要）

平成30年度は、全般的に、森林・林業を取り巻く状況に好材料が増えつつあり、引き続き、行政機関、関係諸団体と一層の連携を図りながら、木材安定供給のための役割をはたしてまいります。

同年度は、森林組合系統の「森林・林業・山村未来創造運動」の



永年勤続表彰登壇者の皆様



長野森林組合 小川兼範様



県森連 小林敏樹様



信州上小森林組合 佐藤とも子様



信州上小森林組合 久保航太様



長野森林組合 川又徳久様



来賓・会員多数のご出席をいただきました

中間年に当たり、引き続き、目標達成に向けて掲げた重点事項に取り組んでまいります。

運動に掲げた安定財源の確保については、関係各位のご尽力により、森林環境税（仮称）が創設されることとなり、平成36年度からの課税、35年度までの間は特別会計における借入れにより財源を確

保し、森林整備のための市町村の体制整備に合わせ譲与されることとなりました。

平成29年度末で課税期限が到来する長野県森林づくり県民税も継続することが決定されました。

森林組合による非違事案を受けて実施した、「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」に

基づき、公正な会計処理の徹底や森林整備事業の内容の公表、コンプライアンス意識の醸成やガバナンスの強化を、研修会の開催や専門家の指導助言などにより継続いたします。

| 永年勤続（技能職員）被表彰者 | | | | |
|----------------|------|----|----|----|
| 勤続年数 | 組合名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 20年以上 | 南佐久北 | 高木 | 俊清 | 保人 |
| | 南佐久北 | 橋本 | 清一 | 寿 |
| | 南佐久北 | 奥田 | 津和 | 良 |
| | 信州上小 | 梅岩 | 津崎 | 和文 |
| | 信州上小 | 曾山 | 加藤 | 武敏 |
| | 長野 | 野野 | 川又 | 塩 |
| | 長北信 | 野野 | 片森 | 知弘 |
| | 長北信 | 野野 | 坂井 | 直 |
| | 長北信 | 野野 | 佐藤 | 直 |
| | 長北信 | 野野 | 原北 | 芳明 |
| 10年以上 | 信州上小 | 田本 | 本間 | 延 |
| | 信州上小 | 野野 | 峰村 | 正 |
| | 信州上小 | 野野 | 伊藤 | 好 |
| | 信州上小 | 野野 | 池田 | 悠 |
| | 信州上小 | 野野 | 関 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 阿 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 阿 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 阿 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 阿 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 阿 | 和 |

| 系統利用優良森林組合等感謝状贈呈名簿 | | | | |
|--------------------|----|--------|----|----|
| 《木材販売事業》 | | 《購買事業》 | | |
| 松本 | 広域 | 信州上小 | 小森 | 林組 |
| 長野 | 野森 | 松本 | 上野 | 林組 |
| 北信 | 州森 | 長野 | 野野 | 林組 |
| 上伊 | 那森 | 飯野 | 伊久 | 林組 |
| 信州上小 | 森林 | 佐久 | 伊久 | 林組 |

| 永年勤続（専任職員）被表彰者 | | | | |
|----------------|------|----|----|----|
| 勤続年数 | 組合名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 30年以上 | 県森連 | 丸山 | 久敏 | 富樹 |
| | 県森連 | 小川 | 兼連 | 樹 |
| 25年以上 | 長野 | 野野 | 川口 | 兼 |
| | 県森連 | 野野 | 小田 | 連 |
| 20年以上 | 信州上小 | 久保 | 青柳 | 蔵 |
| | 信州上小 | 久保 | 久保 | 宏 |
| 10年以上 | 信州上小 | 林吉 | 池田 | 和 |
| | 信州上小 | 吉士 | 屋敷 | 耕 |
| | 信州上小 | 佐藤 | 藤野 | と |
| | 信州上小 | 野野 | 西河 | 亮 |
| | 信州上小 | 野野 | 河野 | 行 |
| | 信州上小 | 野野 | 澤野 | 太 |
| | 信州上小 | 野野 | 河野 | 和 |
| | 信州上小 | 野野 | 尾丸 | 輝 |
| | 信州上小 | 野野 | 丸山 | 裕 |
| | 信州上小 | 野野 | 中山 | 江 |



続けよう 植えて育てて 緑の輪

平成 30 年度
国土緑化運動標語

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 木下 修
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 塩入 茂

長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦
副会長 林 和弘 代表理事専務 高田 幸生

長野県林業団体協議会

会長 滝澤 栄智
副会長 宮崎 正毅 副会長 木下 修

長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 岡 健一郎
副理事長 佐原 良彦 副理事長 麦島 照幸
副理事長 都築 透 専務理事 宮崎 広雄
副理事長 大久保陸男 事務局長 松本 寿弘

林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 専務理事 宮崎 広雄
副支部長 滝澤 栄智 事務局長 大屋 博利

信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 齋藤 廣 専務理事 宮崎 広雄
副理事長 滝澤 栄智 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 中村 慎

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

一般社団法人

長野県猟友会

会長 竹入 正一

一般社団法人

信州の緑と野鳥を守る会

理事長 小林 富夫

長野県山林種苗 協同組合

理事長 富澤 修一

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター
長野水源林整備事務所

所長 山崎 英志
長野県水源林造林協議会
会長 中村 武雄

長野県森林組合長会

会長 林 和弘

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県林業 薬剤防除協会

会長 牧 司



私達も緑化推進運動に協力しています。



育てよう 日本の緑 つながる笑顔

平成30年度
育樹運動標語

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

諏訪地域森林づくり ・林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曾山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

松本地域森林林業振興会

役職員一同

長野地方緑化推進委員会

会長 伊藤 博文 役職員一同

北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹下 元治 専務理事 小林 健

長野市大字穂保字中ノ配 342

木曾木材生産事業協会

会長 神田 清二

木曾郡上松町荻原中島 1579-3



東信木材センター 協同組合連合会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 監 | 理 | 副 | 理 |
| " | 務 | 理 | 事 |
| " | 事 | 事 | 長 |
| 事 | | | |

松黒伊倉山大笹星宮滝小田齋
澤澤藤沢岸保崎野崎澤沢中藤
和晴明喜陸千勝広栄徳高
孝夫彦人昭男城好雄智一徳敏

小諸市甲字鞍掛四七四七
FAX (〇二六七) 二二三一〇八八七
三二九三

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

地産池消のエネルギー

- 間伐材・道路支障木解体木材
- 原料木(根株・枝条・廃木材等)
- 用途に応じたサイズに破碎(0~50mm)
- バイオマス発電用燃料
- 吹付用基盤材(長野県特肥309号)

至飯綱スキー場
看板
お山の発電所
当社工場
至浅川・長野市街地

一般廃棄物処分業許可:長野市50006号

電子マニフェスト対応 ISO 140001:2004

宮澤木材産業株式会社

環境事業部 木材リサイクルセンター

TEL.239-3260

長野市中曾根3646-1 FAX.239-3252
受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日
本社/長野市中曾根2188-5 TEL.239-0588

廃木材を100% 電力にリサイクル!!

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail kankyout2@mwwi.co.jp



続けよう 植えて育てて 緑の輪

平成 30 年度
国土緑化運動標語

一般財団法人

日本森林林業振興会 長野支部

支部長 土田 薫

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-0915

一般社団法人

長野林業土木協会

会長 木下 修 役員一同

長野国有林森林整備協会

会長 花見 隆夫 副会長 林 和弘

長野市稲葉母袋沖 612-2

日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185



みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和雄

本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

株式会社 長野林友

代表取締役 清水 信之

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-7741



一般社団法人

日本森林技術協会

長野事務所 所長 井上 康

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

(株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 長谷川 洋

長野市稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710

株式会社 森林テクニクス

長野支店

長野市松岡 1-16-34 ☎026-214-9271

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 定男
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫
組合長

南佐久南部森林組合

代表理事 藤原 忠彦
組合長

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役 田中 高德

生産森林組合・集落等の作業従事中 傷害補償制度

おてんま傷害保険

(管理下中における傷害のみ補償特約付帯普通傷害保険)

加入のおすすめ

〈取扱代理店〉

(株)モリレン長野

長野県長野市中御所岡田町30-16

TEL 026(267)6636 FAX 026(226)2225

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭 役職員一同
組合長

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 倉沢 明人 役職員一同
組合長



私達も緑化推進運動に協力しています。



育てよう 日本の緑 つながる笑顔

平成30年度
育樹運動標語

諏訪森林組合

役職員一同



もりもり上伊那

上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同
組合長



飯伊森林組合

代表理事 林 和弘 代表理事 古田 美士
組合長 顧問 役職員一同
常務理事 吉澤 悦史

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同
組合長 下伊那郡根羽村 407-10

和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同
組合長

木曾森林組合

代表理事 神村 光雄
組合長

木曾南部森林組合

代表理事 坂家 重吉 役職員一同
組合長

南木曾町森林組合

代表理事 藤原 和年 役職員一同
組合長

松本広域森林組合

代表理事 中村 善行 役職員一同
組合長

長野森林組合

代表理事 酒井 美明 役職員一同
組合長

北信州森林組合

代表理事 中山 稿一 役職員一同
組合長

栄村森林組合

代表理事 桑原 重雄 役職員一同
組合長

4月の市売りのご案内

| 本部事務所(製品) | 荻原事務所(原木) | 坂下事務所(原木) | 国有林土場等活用委託販売市売日 |
|---|-------------------|-------------------------------|---|
| 花まつり 第44回全木協連優良 国産材製材品展示会 4月21日(土) | 春季謝恩市 4月24日(火) | 4月 5日(木) 春季謝恩市 4月25日(水) | 4月17日(火) 入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。 |

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村数原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

